

四つのテスト

言行はこれに
照らしてから

1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？



例会場：厚木アーバンホテル

例会日：毎週金曜日 12:30～13:30

事務局：厚木市栄町1-16-15 厚木商工会議所2階

厚木県央ロータリークラブ令報

<http://www.ken-ou-rotary.gr.jp/> e-mail : info@ken-ou-rotary.gr.jp TEL : 046-222-5811 Fax : 046-222-5821



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22年度R I テーマ
「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

2021-22年度厚木県央RCテーマ
「厄災禍におけるクラブ活性化を考えよう」

会長 和田貴樹 副会長 北村正敏 幹事 松本 豊

第1082回例会(2022年4月16日)

■点鐘 …和田貴樹会長

■斉唱 …我等の生業

■スマイル

和田貴樹会長・松本 豊幹事

連日の例会、皆さんお疲れ様です。特に本日は今年度最大のイベントの献血支援活動に協力ありがとうございます。午前の担当の方ありがとうございました。また、午後の担当の方、宜しく申し上げます。伊藤委員長の活躍で目標人数を十分達成できそうです。

白井欽一君・森 正章君・松澤修身君・守屋孝則君

北村正敏君・新川 勉君・岩堀美子君・関原敏文君

石井 卓君・神崎 進君・山口昌興君・高畑幸夫君

伊藤 一君・山田幹男君

スマイルボックス

■会長タイム

二日続けての例会参加、ありがとうございます。午前の担当のメンバーの皆さんご苦労様でした。午後のメンバーさんこの後宜しくお願い致します。私も先程献血しました。何人か血圧等の関係で出来なかったメンバーもいたようです。健康に注意しましょう。

■例会 「献血支援活動」

担当：和田貴樹会長

今年度何とか公開例会を開催する方向で模索したが、引続きのコロナ禍により集客してのイベント開催は断念せざるを得ず、その代替イベントとして同様に活動に影響を受け不足をきたしている輸血用血液確保を目的とする「献血支援活動」を第1082回例会として企画・実行する事となった。

当日は天気にも恵まれまた事前の会員のアナウンスも功を奏し予想を遥かに上回る方に献血へのご協力をいただく事が出来た。赤十字からの報告によると64人の方にご協力をいただき55人の方から献血をしていただいたとの事。これは当日5ヶ所で行われた献血活動でトップの実績のうえ、厚木で行われた過去の献血活動においてもトップクラスの実績だとのことである。

ただ設備の関係上、献血が同時に4人までしか出来ず協力していただける意思を持った一般の方が、時間の関係で断念せざるをえなかった事は少々残念だった。しかし我がクラブとして初めての「献血支援活動」がこのコロナ禍の血液が不足している状況下で無事開催できたことは厚木県中央RCの社会奉仕の活動の一環として非常に評価されるべき活動だったと自負出来るのではないかと。

最後にイベントリーダーの伊藤委員長、山口委員長以下2日続けての例会だったうえ長時間活動にご協力いただいた会員、さらに自身で献血協力していただいた会員、そしてわざわざ献血のために出向いてくれた事務局の浅井さんを含め全ての会員に心より感謝申し上げ今年度のメインイベントの報告とさせていただきます。



■出席報告 <会員 39名、出席対象 38名>

4月16日例会 出席 24名 欠席 15名 出席率 63.16%

事前メイク：

森 志朗君(4月14日／新会員親睦)